

上州武尊山山行報告

【山行日】2022年 3月 10(木) 晴れ

【集 合】岩舟支所 P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 6,000円

【メンバー】CL:鈴木、SL:吉田

石澤、嶋田、関、福島

【コースタイム】岩舟支所 P6:00=川場スキー場

7:50/8:30+++リフト最上部 8:50/9:05~剣ヶ峰

9:30~武尊山 10:30/10:50~尾根 11:25/11:55

~剣ヶ峰 12:15~リフト最上部 12:35/12:45~

川場スキー場 13:05/13:20=道の駅「かわば田

園プラザ」13:45/14:05=岩舟支所 P15:30



雪山が荒天の為3週連続で行き先変更となり、晴天の日を狙って上州武尊山に登る計画を立てた。上州武尊山は川場スキー場のリフト2本を乗り継いで、比較的楽に雪山登山を楽しめ人気の山である。しかし登山計画書の提出やココヘリ装着が義務付けされており、入山の手続きに時間が掛かる。



前夜に登山計画書をダウンロードして書き込み、ココヘリのレンタル予約を行ったが結構手間が掛かる。岩舟支所を6時に出発し、北関東道から関越道を進み沼田ICで降りて川場スキー場に向かう。川場スキー場に到着し立体駐車場に車を止め、準備を整えたらエレベーターで受付カウンターがある6階に向かう。皆さんに緊急連絡先を記入してもらい、受付カウンターに並ぶが長い列が出来ていた。石澤さんが並んでいてくれたので直ぐに受付が出来、時間を節約でき3番目でリフト

に乗ることが出来た。桜川エクスプレスとクリスタルエクスプレスの2本のリフトを乗り継ぎ、リフト最

上部に着く。登山者用の準備スペースまで移動し、アイゼンを付けストレッチを行って出発する。北側の斜面に取り付、いきなりの急登に息を切らせて登って行く。尾根上に登ると傾斜が緩くなり、快晴の天気恵まれて素晴らしい展望に歓声上がる。小休止して衣服調整し、展望を楽しみながら呼吸を整える。

ここからは尾根上を歩き、武尊山や前武尊、谷川連峰の展望を楽しみながら剣ヶ峰山に向かう。直ぐに剣ヶ峰山に着き、本コース一番の難所を慎重に下って行く。



嶋田さんの腰が引けて、恐る恐る降りてくるので「背筋を伸ばしてアイゼンをフラットフティングで下る」ようアドバイスする。すると見違えるような下りになり、快調に降りて来る。急登と急降下を繰り返



しながら進み、展望が良い尾根で小休止しデコポンや菓子をいただく。目の前には真っ白な上州武尊山がドーンと聳え、振り返ると剣ヶ峰山の鋭鋒が素晴らしい。谷川連峰の雲がとれ、純白に輝く峰々に皆さん満足そうに見入っていた。ここからもアップダウンを繰り返しながら進み、最後の武尊山への急登は西側の尾根に回り込む。武尊神社からの尾根に合流し、右に急坂を登ると上州武尊山山頂に着く。山頂には大きな山頂標識が立ち、360度の大パノラマ

が待っていた。一等三角点が置かれた山頂からは、皇海山から日光連山、尾瀬至仏山、巻機山から谷川連峰、四阿山から浅間山までさえぎるもの無い大展望が広がっている。山頂標識の前で記念写真を撮り、展望を楽しみながらゆっくりと休憩をとる。登って来た者しか見ることが出来ない絶景を、スマホに収めながら満足そうに展望を堪能していた。



山頂でランチの予定だったが快調に登って時間が早いので、下ってから途中の尾根で食べることにする。景色を十分に楽しんだら下山開始し、往路を慎重に下って行く。尾根の向こうに剣ヶ峰山の鋭角な頂が聳え、それを見ながら下る景色は素晴らしく、雪山の醍醐味を存分に味わえるコースである。



谷川連峰や獅子ヶ鼻山を間近に望む尾根でランチタイムとし、雪を踏み固めて休憩場所を作る。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンと石澤さんの出汁巻き卵をいただく。急に風が吹いて嶋田さんの保冷バックが飛ばされて、谷の下まで落ちてしまった。皆さんが分け合って食べ、ランチが済んだら下山開始する。食べた後の剣ヶ峰山への登り返しは辛かったが、景色を見ながら登り切り無事にリフト最上部まで戻った。アイゼンを外し

たら1本のリフトに乗り継ぎ、川場スキー場まで降りて IC リフトカードとココヘリを返却し500円バックされる。エレベーターに乗って駐車場まで戻り、スパッツを外して靴を履き替えたら帰路につく。途中、道の駅「かわば田園プラザ」に寄って買い物し、予定より早く岩舟支所に帰着した。